



シンフォニア通信 第13号



東京都日野市東平山 3-1-19

社会福祉法人 大家族

特別養護老人ホームシンフォニア

～ごあいさつ～

長寿の地域を訪ね歩いた栄養学者の幕内秀夫氏が、ウィグル族の地域で立派な髭の老人に年齢を訊くと、「私は二百歳だ」という大雑把な答えです。付き添っていた娘にも同様に訊くと「私は三十歳だ」と言う。娘が三十歳なら、「お幾つの子どもの？」の問いには、笑っている。はるばる日本からやってきて、真面目に年齢を調査している自分のことがおかしくなるとともに、「彼らは、自分の年齢などに全く興味がなく、年齢で見ているのは他人だけ。百歳まで生きた人は、百歳を目標にしていたわけではない。数字で表される年齢に何の意味が？」と気づき、長寿の本質は、数字ではなく、質であるべきだと書いています。

一方、シンフォニア利用者の方々はその生きざまをいろんなかたちで日々の生活の中で表しておられ、居住まいやその行動から、長い人生の「年輪」を感じさせられます。そして私どもは、お世話をさせていただきながら、いろいろ教えられています。

ところで、今の私たちの生活の仕方では、多くの家庭で仕事場は外にあり、お年寄りの認知度や身体介護度、また24時間対応の在宅介護が難しい現状を考えますと、施設介護の役割を再認識しています。同時に、その内容の充実に努めようと考えています。

御利用者の皆さんにすれば、長い人生を過ごされた環境が施設に変わりますと、戸惑いもあったりし、施設や職員になれるのにも時間が必要なこともあります。

それらの条件を超えて、一期一会を生かしつつ御利用者、職員（施設）、御家族の三者が、「信頼の三角形」をつくり、職員も含めてそれぞれに「納得の人生」をお手伝いできる「シンフォニアでの生活」を築けたら、すばらしいなと考えています。

開設1年が経ち、2年目が始まりました。5月の青空を、風によって元気に楽しそうに泳ぐ鯉のぼりの鯉のように、これからもがんばって行きたいと思います。よろしくお願ひ申し上げます。

社会福祉法人 大家族
理事長 佐々木榮一

～イベント紹介～

ゴールデンウィークにたくさんのイベントが開催されました。



【4/30 おてもやんズによる民謡】

民謡を鑑賞されました。昔よく聞いたという民謡に利用者様も懐かしい様子でした。武田節と一緒に歌われました。

【5/3 小介川淳子さんのピアノコンサート】

おやつ時間はいつもより少し豪華にケーキを召し上がられました。利用者様より「おいしい!」という声が聞かれました。その後、小介川淳子さんによるお話と素敵なピアノ演奏を聞かれました。

【5/4 おてもやんズによる民謡や踊り】

おてもやん、むらさき小唄、チャッキリ節、柳橋情話、花笠音頭など華やかな踊りが披露され、利用者様も楽しんで鑑賞されました。

【5/5 ジョージ・ジョガラの三味線】

シンフォニアにイベントでは初めてジョージ・ジョングラの皆様が来て下さいました。津軽三味線の生の演奏はとても素晴らしく感動しました。

